

■ 中央公民館

夏休み将棋教室

対 象：小学生

実施回数：3回（計3日）

参加人数：28人（延べ82人）

■内容：

幅広い世代に親しまれ、伝統的な文化の一つとも言える将棋の楽しさを知り、また、対局を通じて人との関わりやルールを学ぶ機会ことや、学校や学年を超えた子ども同士の仲間づくりを行うことを目的に開催した。本事業では、日本将棋連盟に所属する講師により、初心者と経験者を分けてそれぞれに合った指導を実施した

<実施日時>

8/2(月)～4(水) 午前10時～11時30分

■講師・指導者：

高野 秀行さん（日本将棋連盟六段）他2人

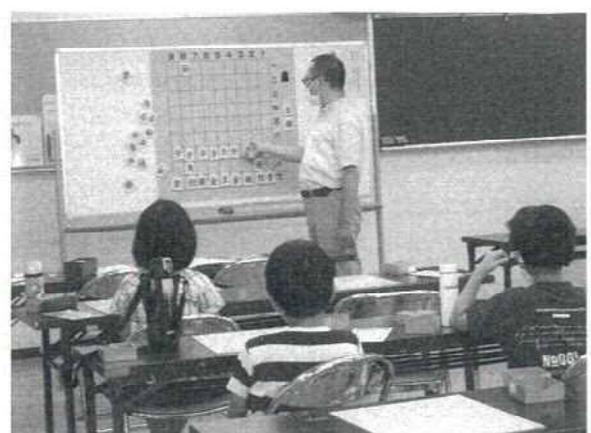
■担当者より：

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、実施を見送ることとなったが、令和3年度は、感染対策に配慮しながら開催した。

昨今の将棋人気の高まりや、コロナ禍のため夏休みでもあまり遠出ができない事情等もあったためか、申し込み開始から数日で先着申し込みが定員満了となる人気ぶりだった。

初めての参加や初心者の児童も少なくない中、先生方の丁寧なご指導のお陰で「先生の話がわかりやすかった」、「ほんかくてきに教えてくれて、しょうぎがもっとすきになった」など、講座後の感想も大変好評だった。

今後も、夏休みの思い出となる事業として、事業を続けていきたい。（小島）



初心者のための囲碁教室

対 象：主に小学生以上の初心者

実施回数：6回（計6日）

参加人数：延べ62人

■内容：

幅広い世代に親しまれ、伝統的な文化の一つとも言える囲碁の楽しさを知り、また、対局を通じて人との関わりやルールを学ぶ機会とする。本事業では、公民館利用団体の日本棋院狛江支部に講師を依頼し、初心者から本格派まで幅広い指導を受けることができる。狛江市出身の若い囲碁プロ棋士が話題になったこともあり、今後も多世代での広がりを期待しつつ、初心者であっても囲碁に親しむことができる機会としている。

<実施日時>

第1回：10/3（日） 第2回：10/10（日） 第3回：10/17（日）

第4回：10/24（日） 第5回：10/31（日） 第6回：11/7（日）

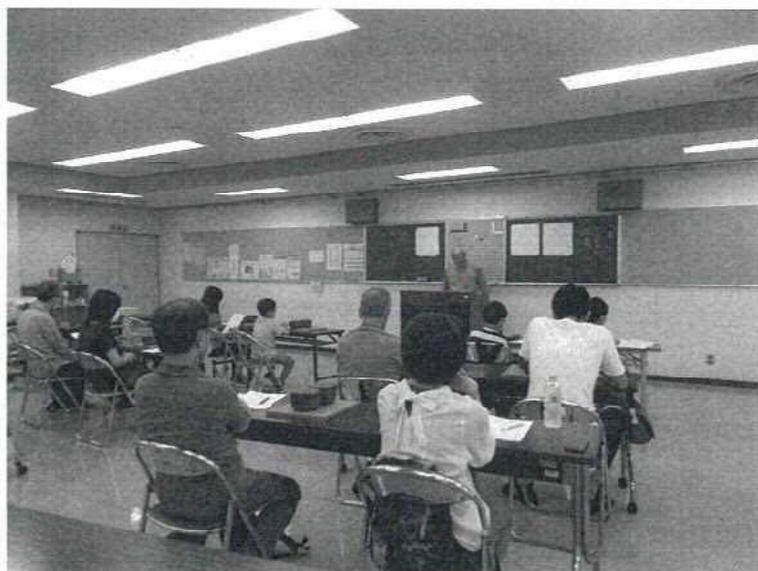
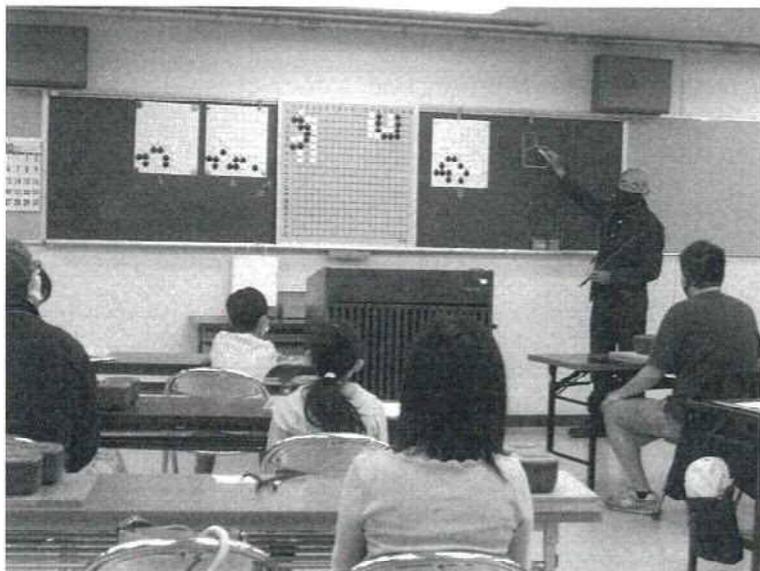
各日、午前10時～11時30分

■講師・指導者：

日本棋院狛江支部

■担当者より：

昨年度は参加者の過半数を70歳代以上の方が占めていたが、今年度は小学生が約半数を占めるなど、比較的若い世代に参加していただけた。今年度から、電話申し込みだけでなく、インターネットでの申し込みができるようにしたことが、若年層の参加につながったのではないかと思った。今年度は子どもたちに多数参加してもらったので、来年度はさらに若い世代の大人（20～50歳代）の参加を増やすことができるように周知方法等を検討したい。（音成）



対 象：小・中学生
実施回数：18回（計18日）
参加人数：延べ180人

■内容：

科学実験を通して、子どもたちに自然科学を楽しく学んでもらい、発想力、表現力を豊かにすること、他校の児童と交流することにより、社会性、協調性を養うことを目的としている。

<実施日時>

年間18回（土日開催）

小学1～2年生：午前10時30分～11時30分（60分）

小学3年生以上：午後2時30分～4時30分（120分）

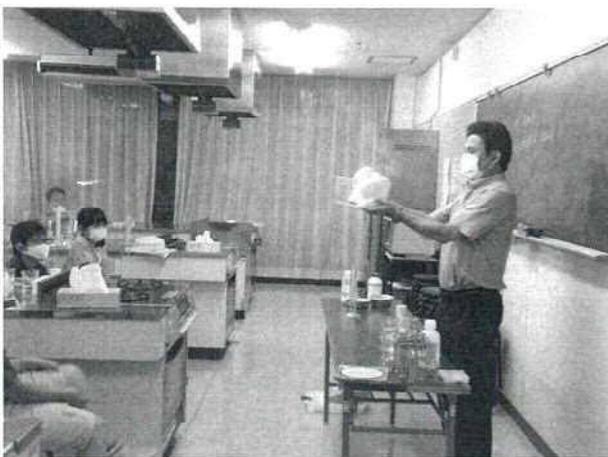
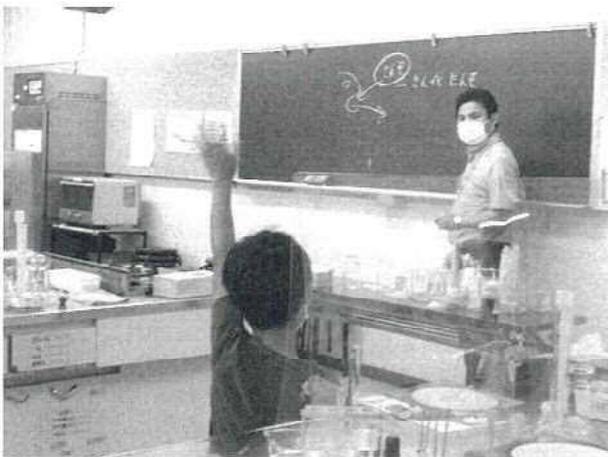
■講師・指導者：

自然科学数理教室 キッズアース講師

■担当者より：

令和3年度から、申し込み方法を電子申請に変更したこともあり、令和2年度とは違ってどれだけの参加希望があるのかが数値で分かるようになった。ほぼ毎回は定員を上回る申し込みがあり、多い時には定員の2倍以上の申し込みがあった。また、継続して参加・申し込みをされる方が多いことも分かり、事業に満足していただいていることが伺えた。

また、新しい生活様式に則した実施方法として、低学年・高学年それぞれのクラス向けに2種類ずつ動画を公開した。（音成）



対 象：青年

実施回数：8回（計8日）

参加人数：延べ74人

■内容：

現代に流行している趣味・教養のための学びや体験を通して、青年の趣味づくり・仲間づくり・居場所づくりに貢献し、青年の心身の成長と発達、充実を図ることを目的としている。

＜実施日時・参加人数＞

消しゴムはんこに挑戦！：8/10（火）午後2時～4時（9人）

子どもと楽しむDIY講座：8/12（木）午後2時～4時（11人）

夏休み子ども絵手紙教室：8/13（金）午後2時～4時（12人）

バルーンでクリスマス飾ろう：11/27（土）午後1時～3時（10人）

ハンドメイドキャンドルを作ろう：12/11（土）午後3時～5時（6人）

終活のポイント：12/22（水）午後1時30分～3時30分（7人）

フラワーアレンジメント：1/12（水）午後2時～4時（8人）

子どもと楽しむDIY講座：2/20（日）午後2時～4時（11人）

■講師・指導者：

消しゴムはんこに挑戦！：内藤 志保さん（NHK 学園オープンスクール講師）

子どもと楽しむDIY講座：DIY BASE 認定講師

夏休み子ども絵手紙教室：「絵手紙発祥の地ー狛江」実行委員会

バルーンでクリスマス飾ろう：久嶋 綾子さん

ハンドメイドキャンドルを作ろう：鎌田 ひろ子さん（RIROKO Candle）

終活のポイント：神野 由美子さん、菊田 民治さん（狛江の相続を考える行政書士の会）

フラワーアレンジメント：株式会社和泉園

子どもと楽しむDIY講座：DIY BASE 認定講師

■担当者より：

夏休み子ども・中高生スペースにあわせて4つの講座を企画した。新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言が発出されていた時期のため、残念ながら1つの講座は実施できなかったものの、親子で参加してもらうことができた。

新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなくなってしまったものもあるが、大人向けの講座も企画し、昨年度よりもいっそう幅広い世代向けの講座ができた。（音成・高橋（公））



子どもと楽しむDIY講座



ハンドメイドキャンドルを作ろう

対 象：市民

実施回数：8回（計8日）

参加人数：延べ84人

■内容：

生活や文化など、身近な暮らしの課題に焦点をあて、継続的にゼミナール形式で学ぶ事業として実施。令和3年度は「狛江におけるSDGs（持続可能な開発目標）～狛江ではSDGsで何を、どう考える～」をテーマに、講義や参加型の学習のほか、参加者もそれぞれの経験を活かして課題解決に向けた提案をするなど、積極的に狛江市の将来について議論を行った。なお、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大により市外への視察は行えなかった。

＜実施日時＞

8月～3月 原則第4土曜日 午前10時～正午

■講師・指導者：

永山 利和さん（日本大学商学部元教授）

■担当者より：

今年度のテーマ・内容はSDGs（持続可能な開発目標）で、現在とても注目されていることもあり、過半数は昨年からの継続参加ではなく、新規の参加者であった。

また、狛江市の環境分野におけるSDGsの取り組みを、環境政策課職員から紹介をしてもらう回を設けたところ、市職員から生の声を聞くことができ良かったという意見が多かった。参加者それぞれが自分の身近な暮らしと狛江市の将来を結び付けて考えることのできる良いきっかけになったのではないかと思う。（音成）



趣味教養講座「苔玉で季節を楽しむ」

対 象：市民
実施回数：1回
参加人数：6人

■内容：

コロナ禍で自宅に居ながらも自然を楽しめる趣味の一つとして、苔玉を紹介した。南天を使って実際に苔玉を作り、その育て方や、受け皿や小物の合わせ方で雰囲気や季節感を自由に変えられることを学んだ。

<実施日時>

11/28（日）午後2時～4時

■講師・指導者：

岩下 由紀子さん（山野草の盆栽の教室「睦草」主宰）

■担当者より：

植物を使用する講座はだいたい人気があるようで、今回も多くの方から申込みがあったが、一度に指導できる人数が少ないことは残念だった。参加者全員が「大変良かった」とアンケート回答しており、講座中も全員が心から楽しんで学んでいる雰囲気が感じられた。季節ごとの開催を希望する声もあり、今後も他の植物を使用した講座を検討したい。（金子）

趣味教養講座「プロが教える！似顔絵講座」

対 象：市民
実施回数：1回
参加人数：21人

■内容：

新たな趣味の発見と仲間づくりの機会として、似顔絵講座を開催した。似顔絵の基礎となる、個性的な部分を誇張することや特徴を捉えて似顔絵を完成させるまでを段階的に学んだ。参加者は持参した写真をもとに、講師からアドバイスをもらいながら自分や家族の似顔絵を描いた。

<実施日時>

1/16（日）午後2時～4時

■講師・指導者：

勝山 朝日さん（元カリカチュア・ジャパン株式会社・イラストレーター）

■担当者より：

絵を描く講座はあまり実施してきていなかったが、今回の似顔絵講座は申し込み開始から多数の申し込みがあり、終了後のアンケートでも今後受講してみたい講座に芸術系のジャンルを挙げている方が多く、需要を感じた。今後の講座実施においても、新しいジャンルを検討していきたい。（音成）

女性セミナーⅡ「子育てについて考える」

対 象：乳幼児のいる保護者

実施回数：11回（計11日）

参加人数：延べ100人

■内容：

子どもと親の関わり方や子どもの発達について、講義やグループディスカッションにより理解を深め、保護者同士の仲間づくり、子育てや自分の生き方を見つめ直すことがねらい。

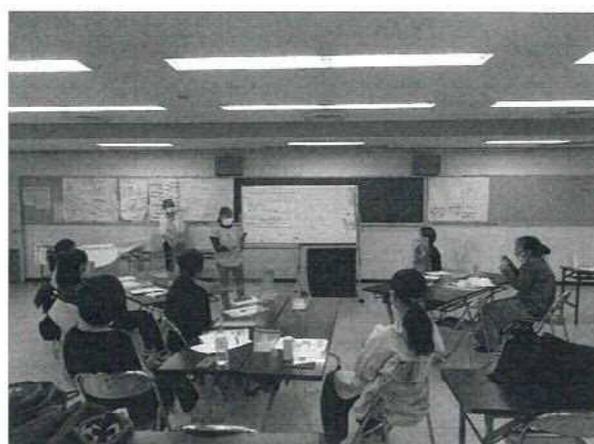
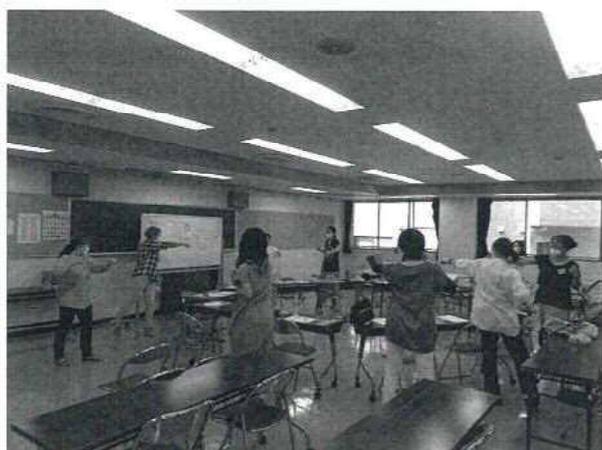
セミナーは公民館保育室での保育付きであり、安心して参加できる。保育室を利用する方は、保育士（他人）から見た子どもの様子伝えてもらえるため、子どもの成長を振り返る機会とすることもできた。

<実施日時>

9/15～12/1の水曜日 午前10時～正午

■担当者より：

元々安心して小さな子どもを連れて行ける場所は少なかったが、コロナ禍にあってはほとんどなくなってしまっている。子育てで追いつめられる親を作らないために、社会で孤立しがちな子育て世代の保護者の学びを保障し、子どもの成長を支える場にしていきたい。（泉）



保育室の活用「学習グループ保育」「保育室学習会」

対 象：保育室活動グループの保護者と乳幼児

実施回数：47回（①学習グループ保育）

11回（②保育室学習会）

参加人数：①延べ244人（保育の子ども）

②延べ77人（会議出席者）

<実施日時>

①学習グループ保育 毎週月・木曜日 午前10時～正午

②保育室学習会 毎月1回火曜日または土曜日 午前10時～正午

（②は保育室運営委員会と保育室運営会議）

■内容：

親の活動中に子どもを公民館保育室で保育する学習グループ保育では、3団体 11 人の子どもの保育を行った。保育室を利用する保護者と保育者による保育室学習会は、保育室運営委員会と保育室運営会議とで成り、相互の理解を深める場となっている。保育室運営委員会は学習グループ保育を利用している3団体から選出した委員が、運営会議での学びを深めるため、会議の議題や進行についての事前調整を行い、運営会議では委員会で調整された学びのテーマに沿って、参加者が意見を出し合い、課題があればそれを共有し、理解を深めている。

■担当者より：

保育士による新型コロナウイルスの感染症対策を組み込み、5月上旬からの開始を6月後半からとした。新規感染者が減ったことにより10月に再開したおやつは、まん延防止等重点措置が実施されたことに合わせて1月に停止するなど、状況に応じた対応を行った。

社会で孤立しがちな子育て世代の保護者の学びや人間関係の構築の手助けをし、子どもにとっては保育室がより良い社会生活の場となるように環境整備に努めていきたい。(泉)



対 象：主に市民
 実施回数：17回
 参加人数：延べ628人

■内容：

世界情勢から生活、健康、娯楽、地域など様々なテーマの専門家による講座は、全て市民大学運営委員会が企画や運営を行っている。地域に関する知識・理解を深める連続講座など、市民のニーズや時事を捉えた講座を実施している。

<実施日時>

通常講座：土曜日（不定期 月1～2回程度） 午後2時～4時

※5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月に延期して実施

課外講座：なし ※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大状況により実施せず

西河原平日講座：11月10日(水)・17日(水)・24日(水)

■講師・指導者：

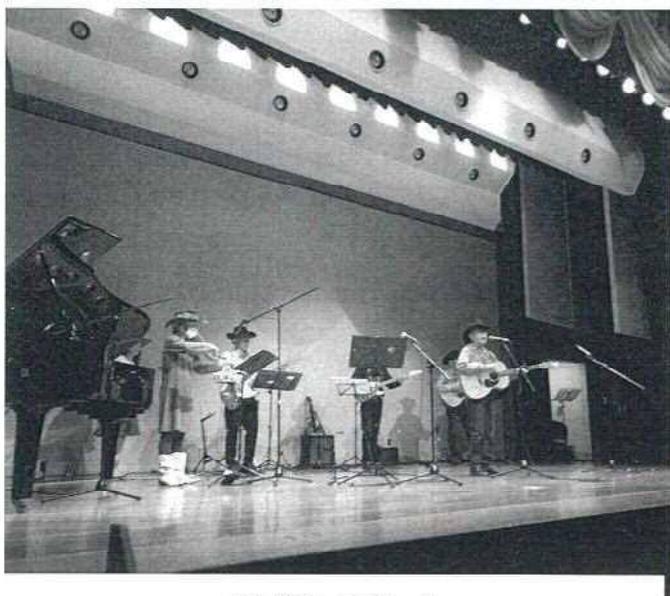
実施日	講座タイトル	講師
4月24日 (土)	エプロン作家50年が語る アニメ・ドラマ脚本と自分史	三宅 直子さん (シナリオ通信講座講師)
6月26日 (土)	いまさら聞けない首都圏直下型地震の基本 ～その時 狛江市民はどうなる どうする～	藤原 広行さん (国立研究開発法人 防災科学技術研究所 マルチハザードリスク評価研究部門長 博士(理学))
7月10日 (土)	渋沢栄一について	永井 美穂さん (渋沢史料館 学芸員)
9月18日 (土)	宇宙の扉を開こう -見て 考えて そして-	柳川 孝二さん (元 JAXA 宇宙飛行士室室長)
10月9日 (土)	さわやかコンサート	BLUE MOON (カントリー&ウエスタンバンド) 和 やす子さん (童謡・懐メロ・シャンソン・ラテン)
10月16日 (土)	モンゴル高原の歴史と モンゴル国の今	小宮山 博さん (名古屋大学大学院客員教授)

11月6日 (土)	飢餓をなくすための8つのチャレンジ	鈴木 邦夫さん (国際連合世界食糧計画 WFP協会 理事・事務局長)
11月10日 (水)	こまえミュージアムシリーズ 今さら聞けない 狛江の太古 第1回 「狛江の旧石器時代・縄文時代」	宇佐美 哲也さん (狛江市企画財政部市史編さん室(兼)狛江市教育委員会 教育部社会教育課 副主幹)
11月17日 (水)	こまえミュージアムシリーズ 今さら聞けない 狛江の太古 第2回 「狛江の弥生時代・古墳時代」	
11月24日 (水)	こまえミュージアムシリーズ 今さら聞けない 狛江の太古 第3回 「遺物・遺跡と発掘調査の話」	
12月11日 (土)	忘れることができないアフリカ -素晴らしさと、悲惨さと-	石郷岡 建さん (ジャーナリスト)
12月18日 (土)	今年の中国、来年の中国 2022年、「中国の夢」は消える?	金子 秀敏さん (毎日新聞社客員編集委員)
11月6日 (土)	新春 寿ぎ寄席 ～三味の音も賑やかに～	寺田隆郎さん(鹿鳴家河童)、 荒井久美子さん(参遊亭小遊)、 棗田真澄さん(ぼんぼん亭遊月)、 若田部真紀さん(参遊亭遊若)
1月29日 (土)	コロナ後の世界経済と日本	賀来 景英さん (元日本銀行調査統計局長)
2月12日 (土)	富士山信仰と富士塚	深瀬 克さん (志木市文化財保護審議会委員)
2月26日 (土)	映像による日本遺産と解説	吉原 健正さん (一般社団法人 日本遺産情報センター 代表理事)
3月5日 (土)	パイロット・サラリーマン 大空駆けて38年	外川 政彦さん (元日本航空株式会社 機長)

■担当者より：

令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症のまん延状況を受け、以前より定員を少なくしたり、会場を変更するなどして、感染予防を図りつつ開催した。幸い、運営委員の積極的な広報や口コミなどにより毎回定員に近い申し込みやキャンセル待ちが出る状況であったが、まん延防止期間等は、直前にキャンセルの連絡が入ったり、無断でキャンセルされる方が出るなど、当日会場に空席がいくつもできてしまうことがあった。状況や体調を考慮して直前でキャンセルをすることは仕方がないが、無断キャンセルの場合キャンセル待ちでお待ちの方等希望者をご案内することができないため、連絡をいただけるよう呼びかけていきたい。また、事業そのものについては、今後も幅広い世代の市民が講座に

参加できるよう、市民の学びに対するニーズや社会情勢を踏まえた講座を継続できるように、こまめ市民大学運営委員会を運営していきたい。(小島)



さわやかコンサート



富士山信仰と富士塚

対 象：主に小学生から大学生、未就学児
と保護者

実施回数：4日

参加人数：343人

■内容：

学校一斉閉庁期間にあわせて平成30年度から開始した本事業は、「学び」、「遊び」、「体験」を通し、夏休みの子どもたちの居場所として定着しつつある。令和3年度は、「体験」に公民館事業として「消しゴムはんこに挑戦!」、「子どもと楽しむ☆DIY」、「夏休みこども絵手紙教室」を実施した。

<実施日時>

8/10(火)～13(金) 午前10時～午後5時

学びのフリースペース：第一会議室

遊びのフリースペース：和室

体験教室：講座室・美術工芸室

子ども食堂：料理実習室・ホール

■講師：

内藤 志保さん(消しゴムはんこに挑戦!)

DIYBASE 認定講師(子どもと楽しむ☆DIY)

「絵手紙発祥の地ー粕江」実行委員会(夏休みこども絵手紙教室)

■協力者：

こまえ学習サポートプロジェクト(学習見守り)

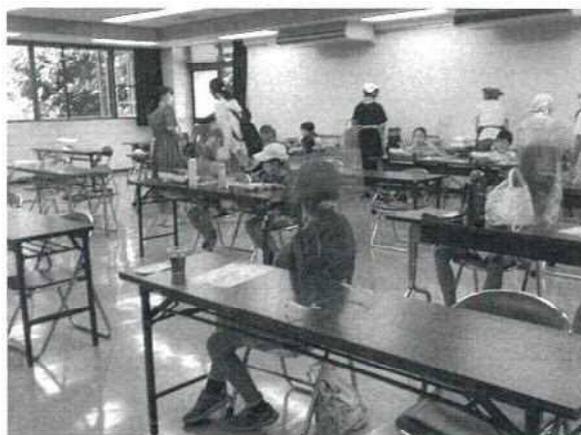
ごはんと居場所連絡会(子ども食堂)

■担当者より：

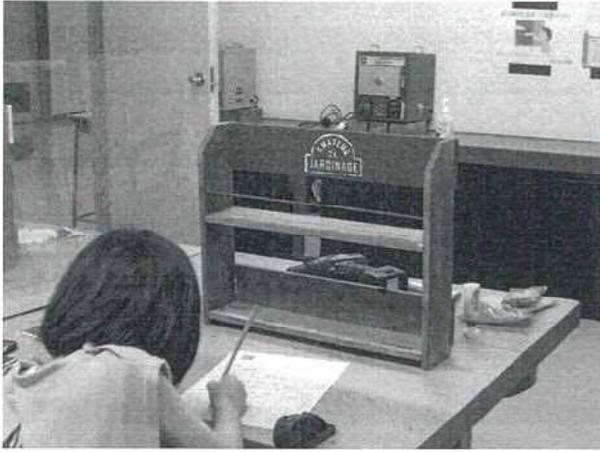
緊急事態宣言期間中の実施となったため、各会場で新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しての事業の実施であった。そのため、事前調整や準備で難航することもあったが、子どもたちが楽しそうに遊んだり、体験したりしている姿や保護者からの喜びの声に力をもらった事業であった。今年度の取り組みを踏まえ、子どもたちに喜ばれる企画を考え、より充実した事業にしていきたい。(刈田)



夏休みこども絵手紙教室



子ども食堂



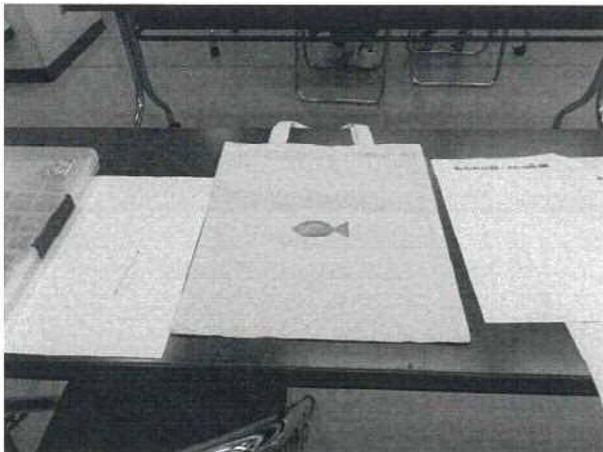
子どもと楽しむ☆DIY



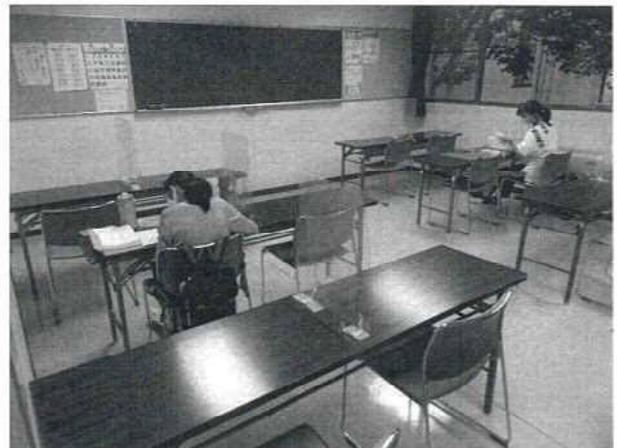
子どもと楽しむ☆DIY



遊びのフリースペース



消しゴムはんこに挑戦！



学習フリースペース

にこにこ広場

対 象：乳幼児とその保護者

実施回数：4回

参加人数：保護者 延べ39人

子ども 延べ44人

■内容：

おおむね3歳までの乳幼児と保護者を対象に、保育室のおもちゃを使った親子の遊びを保育士が手助けする。保育士に育児相談も可能。

＜実施日時＞

令和3年8月10日(火)～13日(金)の午前10時～正午

■担当者より：

令和2年度同様、夏休み子ども・中高生スペース事業の期間にあわせて実施した。コロナ禍での開催のため、同時入室の上限を設けながらの実施となったが、期間中にリピートして参加する親子もいるなど、コロナ禍で遠出が難しい夏休み期間中の子どもと保護者の遊び場として、好評をいただいた。(小島)



パパもママも
大歓迎!!

令和3年度 中央公民館

にこにこ広場

親子で
来てね!

日程：8月10日(火)
11日(水)
12日(木)
13日(金)

時間：午前10時～正午

場所：中央公民館 地下1階 保育室

なつやすみに
保育室で
あそんでみよう!

- 対 象 ■ 概ね3歳までの乳幼児と保護者(父親大歓迎、祖父母も可)
- 内 容 ■ 保育士が保育室のおもちゃを使った親子の遊びを手助けします。育児相談もできます。
※お子様のお預かりは不可(お子様を置いて長時間の外出はできません)
- お申込み ■ 不要。時間内出入り自由。 ※入室時に氏名・連絡先を記入。
※混雑時は、入場制限をする場合があります。
- お問合せ ■ 旭江市立中央公民館 TEL03-3488-4411

対 象：市民
実施回数：3回（計3日）
参加人数：延べ28人

■内容 : 日々の備えから家族の防災力を高めるためのポイント等の紹介。

■講師等 :

第1回：2/6（日）「備えて安心！在宅避難のススメ」

【講師】金原 昌子さん

第2回：2/13（日）「災害に備える「防災脳」を活性化！」

【講師】金原 昌子さん

第3回：2/20（日）「突然の地震に備える防災知識とアクションプラン」

【講師】飛弾 潤さん

■担当者より：

全国約14,000の公民館において、「地域コミュニティの持続的な発展」をテーマに全国公民館連合会と明治安田生命が共同で活動を展開するプロジェクト、「地元の『公民館』元気プロジェクト」の活用によりはじめて行った。今回は明治安田生命が既に定型化して用意してある講座メニュー「MY 定期講座」の中から、全年代対象の「防災講座」を選択して開催した。

はじめての試みのため、明治安田生命の担当者との打合せをメールを含めて何度か行う中で、標準的な内容に終始するのではなく粕江市の情報を盛り込んだ内容にカスタマイズすることができた。

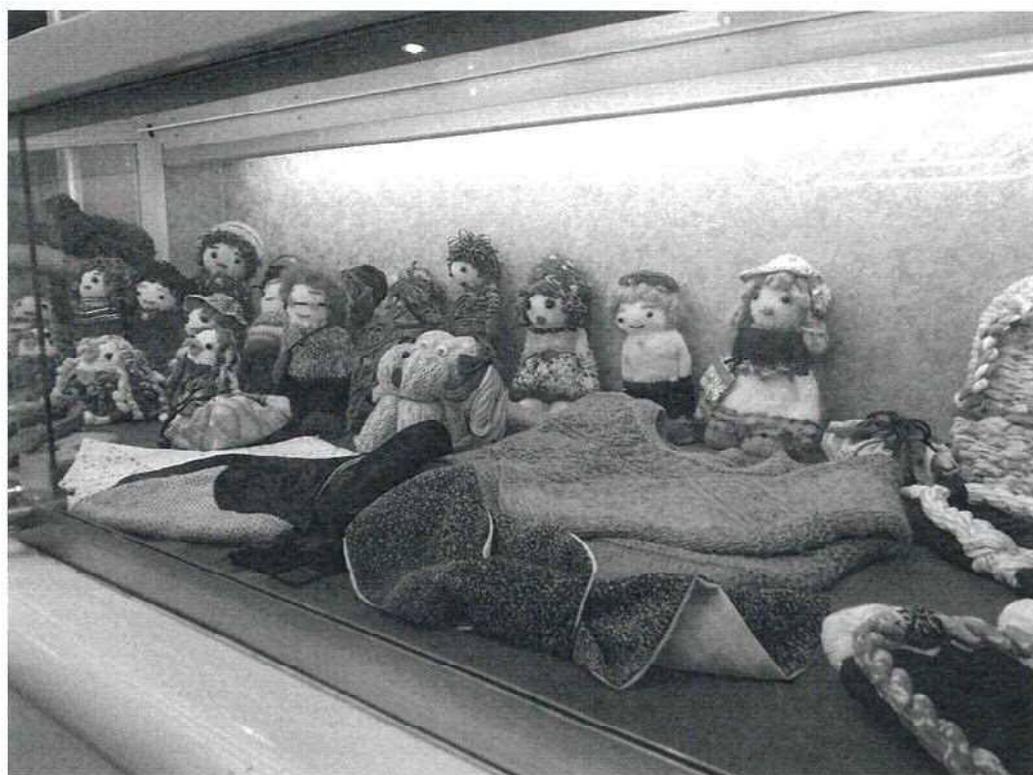
各回ともに、粕江市の防災ガイドも参考にしながら粕江に関する説明を盛り込んだことにより、参加者から「自分事として考えることが出来た」「防災講座を継続的に開催して欲しい」というご意見をいただいた。最終日には「防災工作」として新聞紙で入れ物とスリッパを作った。「身近にあるものを活用して被災時を乗り切る」ということへ意識が向き、ほとんどの参加者が工作自体には大変苦戦したにもかかわらず、「被災生活を想像出来た」と好評であった。

今後も「地元の『公民館』元気プロジェクト」を活用していきたい。

(泉)



豊かな利用をすすめるために



1階ショーケース展示
於：中央公民館

西河原公民館図書室

開室時間 午前10時～午後5時（木・金曜日は午後6時まで）

年間開室日数 269日
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月26日～6月20日は休室

年末年始休館 12/28(火)～1/4(火)

図書室資料の数（令和4年3月31日現在）

図書	32,628冊	DVD	1,088本
一般	20,430冊	CD	1,216本
児童	12,198冊	カセットテープ	131本
雑誌	47誌	ビデオテープ	76本
新聞	4紙	LD	54本

図書の貸出及び館内サービス

個人貸出 図書等 1人10点まで、休館日を除く14日以内
うち、CD 3本
DVD又はビデオテープ 1本
カセットテープ 3本

タブレット (ipad) の館内貸出

団体貸出 (学校・保育園等) 図書のみ 1団体100冊/休館日を除く30日以内

閲覧席 29席
AV視聴席 4席

予約サービス 市立図書館、図書室間等の相互貸借による資料の提供
インターネットによる粕江市内の本の検索・予約

発行物

「にしがわらBOOKだより」

資料展示

テーマ別に随時展示

利用統計

	貸出 利用者数 (個人※)	貸出冊数 (AVを除く 個人※)	AV 貸出冊数	AV館内 利用者数 (視)	AV館内 利用者数 (聴)	おはなし会 実施日数	おはなし会 参加人数
4月	1,406	3,812	531	-	-	4	25
5月	30	132	0	-	-	-	-
6月	445	1,249	203	-	-	1	4
7月	1,246	3,337	457	-	-	4	24
8月	1,484	3,907	524	-	-	2	12
9月	1,359	3,148	516	-	-	4	8
10月	1,426	3,382	562	6	1	4	4
11月	1,225	2,972	438	32	0	4	13
12月	1,189	2,904	398	30	3	4	22
1月	1,273	3,095	448	19	15	4	17
2月	1,312	3,212	453	-	-	4	9
3月	1,489	3,426	578	18	0	5	6
合計	13,884	34,576	5,108	105	19	40	144

※貸出限度冊数が個人と団体では異なるため、個人のみ利用者数、貸出冊数としています。

※休室中に貸出期限を延長した数値を含みます。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/1～10/24、1/21～3/21 AV視聴は中止しました。

西河原公民館図書室の取組み

■展示コーナー

展示コーナーのテーマ

4月「ともだち」「新緑の季節」「こどもの日」	11月「おしごと絵本」
6月「雨を楽しむ」「お父さんの本」	12月「クリスマスの絵本」「お正月」
7月「七夕絵本」「もうすぐ夏休み」	1月「十二支の絵本」「干支(うし)の絵本」
8月「夏の絵本」「木の実」「秋の虫」	「冬の絵本」「雪の絵本」
9月「おじいちゃん・おばあちゃんの絵本」	2月「節分の絵本」「もうすぐ春」
「お月さま・十五夜」	「ひなまつり」
10月「食欲の秋」「ハロウィン」	3月「春の絵本」「入園・入学おめでとう」

・期間展示（3月1日～3月31日）

セカンドブック、サードブック事業対象図書展示

■にしがわら BOOK だより（新着図書紹介、ベストリーダー等）

年4回発行（8月、10月、12月、2月）

■おはなし会

<内容>

子どもたちに本の楽しさを知ってもらうとともに、絵本の読み聞かせだけでなく紙芝居や折り紙、季節の工作などの多彩なプログラムにより親子で楽しめる内容で実施している。

日時：毎週木曜日 午後3時45分～4時30分

対象：小学生までの子どもと保護者

<担当者より>

西河原図書室の担当職員が事業全体の企画と運営を行っており、子どもたちが本や言葉に親しむきっかけづくりとして開催している。節分など季節の伝統行事に関係した内容も盛り込むことで、文化についても学べる内容とするなど、様々なプログラムで実施している。

令和3年度は4月26日から6月20日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公民館が休館となり、その間のおはなし会と、クリスマス・特別おはなし会、いべんと西河原・特別おはなし会を中止とした。感染予防対策を徹底しながら6月末から人数制限しつつ再開し、11月からは人数制限をなくすことができた。参加者の方たちも協力的で、それぞれに十分な距離を保って、様々なおはなしや工作などを楽しんでいた。今後も安全に留意しつつ、多くの子どもたちに本や言葉に親しんでもらえる内容にしていきたい。（金子）

西河原公民館・展示ギャラリー

■内容：

西河原公民館1階の展示ギャラリーにおいて、公民館利用団体の活動発表展示や行政関係の事業等に関する展示等を実施。展示期間は各団体とも原則1週間以内とし、年間を通じて多くの団体が利用している。

<実施日時>

7～3月

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月26日～6月20日は休館

■利用団体：

9団体

■西河原公民館より：

展示内容は書道や写真、絵画、学習記録など様々で、今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、密にならないよう展示スペースを壁面のみとしたが、各団体とも工夫して作品等を展示していた。今後も市民活動の貴重な発表の場として、積極的に活用していただけるよう周知していきたい。(館長)



中央公民館・展示ショーケース

■内容：

中央公民館1階及び2階の展示用ショーケースギャラリーにおいて、公民館利用団体の活動発表展示や行政関係の事業等に関する展示等を実施。展示期間は各団体とも原則2週間以内とし、年間を通じて多くの団体が利用している。

<実施日時>

7～3月

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、

4月26日～6月20日は休館

■利用団体：

1階ショーケース：7団体

2階ショーケース：10団体

■中央公民館より：

展示内容は、書道や写真、絵画、工芸、手芸、学習記録など様々である。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら展示中止となることもあったが、今後も公民館利用団体の活動発表の場として、また、団体活動を広く市民の皆さんに知ってもらう手段として、多くの団体が参加できるよう支援を行っていきたい。(館長)



公民館への要望・意見

4月に開催を予定していた利用者懇談会の出欠確認票で利用団体から公民館への要望・意見をいただきました（郵送・FAX）。

【内 容】

1. 公民館の開館時間は9:00～21:00です。以前（有料化に際した説明会で提案しました）から提案していますが、4分割3時間ずつの使用区分とはできないのでしょうか？当初は職員の昼休み12:00～13:00確保が優先されたとのこと。時代遅れでは？昼休みは交代すればOK
2. 二次コロナ感染による緊急事態宣言の中、行政は昼間の団体には利用させ、夜間の団体には利用させなかった説明責任の欠如があったと指摘したい。行政に対する不信感を抱いた。夜間の利用者より昼間の団体の利用が多いはずなので、これまでクラスターが発生しなかったことは幸いであった。
3. 現役世代、若い人たちを最優先にし、またこれらの人たちが使用しやすく、また、使用したいと思えるような運営にしないと、今後どんどん利用者が減ると思われる。
4. FAXだけでなく、提出書類（スキャンデータPDF）をメールで出せるようにご検討頂けたら幸いです。西暦表記もご検討下さい。
5. 第1～3会議室は「PM1:00～5:00」の時間帯を「PM1:00～3:00」と「3:30～5:30」に分割して利用出来る様にして頂きたい。
6. パソコン上でも、公民館でも一目でどこがあいているのかわかるようにしてほしい。パソコン予約も日にちをタップすれば、どの部屋が空いているのかわかるようにしていただきたい。
7. 市外から来る会員もいるので、夜間はしばらく活動を控えめにしています。コロナが落ち着きましたらまたよろしくお願い致します。
8. 第4会議室で机を移動して使用していますが、元の位置の床に印があると戻しやすいと思います（カーペットなのでむずかしいでしょうか…）
9. 市民センター改修等基本計画は説明会ではほとんど反対意見だったのにそれを無視して強行した。絶対に許せない。白紙に戻して市民の意見を入れて再検討すべきだ。
10. ヨーガの練習には和室が最適なのでコンスタントに部屋が使用出来るととても有難いのでよろしくお願いします。
11. wi-fiはとても役立っていますが、通信速度の遅いエリアの改善をお願いします。清潔にさせていただいて感謝しています。
12. 図書館をなくす方向が出ているが、両方使えるメリットが大きいので、どちらの側も利用減となるだろう。もっと利用者（市民）を主人公とすべきではないか？話し合いも足りない。利用者の意見は聞いているのか？アンケートなどはしないのか？
13. 今後、公民館を休館することには反対です。コロナによる休館・夜間の利用中止など、団体に任せて欲しい。

14. 市民まつりでは、参加者も細かい仕事がありますが、時間的に制限されたりするのでなかなか参加できません。音楽の街をうたっているの、市側主催あるいは公民館主催で、定期的な演奏会、出演者（手当なし）、というのをやっていただけるとありがたいです。実現するにあたっては、その準備段階から、協力いたします。
15. 西河原公民館のエレベーターがゆっくりすぎる…。
16. 公民館での仲間づくり、図書館での学びが一緒の場所にあること、素晴らしい行政力だと思います。いろいろありますが、今後も現在の場所に公民館、図書館が一緒にあることを望みます。今後数年間、元市民センター建替（5,500㎡程度）のための基金積立を行なってからでも遅くはありません。〈もちろん現況市民センターの使い易さの快適さの改修は早急にすべきです。〉
17. いす、机等の備品のチェックをお願いします。
18. ちょっと古いですが、使い易く、広々して、開放的でいいです！
19. 公民館施設の清掃はいつも行なっていただいていますか。利用者にも使用後に簡単でも清掃をお願いすることを一言加えては？その為には部屋にモップかホウキが必要になりますか…。和室は毎回清掃してあると安心ですし、会議室も前利用者の影がないと安心です（笑）
20. 18時から21時（子どもチームと大人チーム）のレッスンの為、駐車場代利用者1名のみ3時間半無料になり助かっています。
21. 公民館による抽選に決定して下さい。（コロナ等関係なく）
22. 一般のWi-Fiが使えない。すぐにでも使えるようにして下さい。
23. 部屋が汚い時がある（視聴覚室）
24. 中央公民館ではそのようなことがないが、南部地域センター、西河原公民館の共用スペースの利用者への声かけに疑問を感じることもある。実際に混んでいて専有してる子どもに声かけするならわかるが、他に人がいない時にくつろいでいる子どもに詰めるよう要求するなど、これが成人で職員と顔なじみの人であったら同様にするのか。
25. 10～15人の会議の場所が少ないため、公民館ではないが市役所防災センター会議室などの利用も可能として欲しい。
26. 加湿器、除湿器、空気清浄機？やエアコン等の備品の手入れ、洗浄、クリーニングはどんな頻度で、どなたが行っているのでしょうか？フィルターがゴミやカビで汚れていて、コロナでない病気になる不安を感じました。
27. 体の動きを確認する為（体操、踊り、ダンス etc）鏡のある部屋がほしいです。
28. 自転車置場に、公民館利用者以外の自転車が多すぎる。
29. 公民館の建替えについてのスケジュールを早く確定してもらい、早めに周知してほしい。
30. 活動中子供をみてるシステム
31. 活動していないクラブの道具など整理してほしい
32. 私達のサークルは、午前に使うクラスが多いので気づくことがあるのですが、最後に使ったクラスの清掃が酷いことがあります。（絵の具、ジュースの輪じみ、等）公民館の

- 方も、戸締りの時に分かると思いますので、注意喚起をよろしく。
33. ラジカセを使わせていただいておりますが、コンセントの不具合か調子の悪い物が多く、メンテナンスをよろしくお願ひします。
 34. 市の「市民センター改修等基本方針」について、その決定過程で公民館としての意見を求められなかったと聴く。市民に対しても昨年8月突然全く一方的に決定として、9月の「説明会」。利用者にとって重大問題でこんな勝手なことが社会教育施設として許されるのか。見解をききたい。
 35. 夜利用なので、夜でも利用券自販機の利用も開館時間中にもできるようにして欲しい。5:00までに手続きに行かなくてはならない。
 36. 受付に、音声文字変換が使えるタブレットを設置して頂きたい。
 37. 部屋の利用料の減免措置があるのは大変ありがたいのですが、毎回紙ベースで利用前日までに提出するのがとても不便です。毎回提出の必要があるのでしょうか。当日提出でも良ければ、とても助かります。ご検討下さいませ。
 38. 図書館移転他色々と広報されているが中央についてどうなるか説明がほしい。
 39. 市の方から最近市民センター改修基本計画が出されていますが、公民館は一部の部分的改修のみ、図書館は分散案。これ迄中央公民館では学習室が一室でも二室でも増えてくれる事、図書館は市民センターの場で充実を望んできただけに、市民の声を公民館の方からも市へ届けていただけたら、本当に有難く思います。
 40. 早くリハーサル室が使える様になると良いです。3Fのリハーサル室でもホールでもない広いスペースも貸し出しをしてくれると良いです。
 41. ロビーコンサートが又復活すると良いです。(コロナが早く落ち着いたら…)
 42. 「改修等基本方針」は利用者、利用団体にあまり知られていない。利用団体への影響が大きいので、館内でもっと骨子概要を知らせてほしい。
 43. 「改修等基本方針」は一旦保留し、市民参加・市民協働でよりよい市民センター増改築をめざし再検討してほしい。
 44. 市長部局で方針が決まり、現場の公民館に下りてきたと何う。公運審でも意見書が出され、懸念が表明されている。市民アンケート結果、市民説明会での多くの声が反映されないまま進められている。
 45. 「市民提案書」を尊重するといいながら、ほとんど反映されていない。ゆったりしたコミュニティ・スペース、みんなの居場所、多世代の交流の場が確保されるか不安です。
 46. 団体活動室の荷物置場のスペースが不足している
 47. 調整会に行くとほとんどがご高齢の方です。仕事をもっていると、公民館は利用することができない状況にあります。不平等です。
 48. 美術工芸準備室の棚に備品が置けると2階の空いた棚に他の活動の方の物が置けるので、いいと思います。
 49. 市民センター、公民館の終了時間を22:00まで伸ばして欲しい
 50. 団活室や2Fロビーに椅子を置いてください。会報作成や印刷作業などの時、ずっと立ちっぱなしになるのはつらいです。

51. コロナの影響でみなさんの活動がどうなっているのか、実態を知ることが必要と思います。懇談会に参加しない（できない）活動がむずかしい団体の状況がわかるようなアンケートが必要ではないでしょうか。
- 市民センター改修については利用団体の活動に大きくかかわることなので、各目的別の部屋のあり方、改修内容についてなど、利用者懇談会が必要です。今の利用者の声を生かして、もっと多くの人々が来やすい公民館となるよう改修内容に反映させていく手だてをお願いします。
52. 職員の方々は、利用者の私たちから見えないご苦労もおありと思いますが、そういうことも含め、利用団体と職員さん（公民館）の距離がもう少し近くなるといいなあと思っています。
53. つどい、イベントにて参加していますが、花器に水を入れる際、水道の蛇口が使用しにくい。スポットライトの使用に協力してほしい。
54. 皆様が親切でとても良いと思います。
55. 別団体で料理実習室を利用する事がありますが、電源が弱く炊飯が出来ない。別室の電源を使用してとの指導であるが、別室の利用料（使用料）金を請求されるのは納得できません。
56. 西河原公民館の多目的ホール等の比較的大規模な部屋の利用は1年前の申込みにして欲しいと思います。外部から講師などをお呼びする場合先方の予約が1年以上前からしなければならぬことが多いからです。
57. メールでアンケートPDFファイルなど情報のやりとりができるようになるとういなと思いました。
58. 西河原公民館2F和室ロールカーテンを直してほしい。ロールチェーンの交換を希望します。
59. 公平となるような抽選が行われるのであれば、公民館による抽選が望ましい。例えば、前もって決まった日時部屋の希望を取り、複数の希望がある場合は、順番を決めて、公平に使用できるようにする。
60. 会員の人数も少なくなっており部屋の使用料金下げて頂ければありがたいです。
61. 西河原も中央公民館と同様8時30分に入館させて欲しい（鍵の受け渡しは9時でいいですから）
62. 中央公民館の改築に際しては市と市民で考える集まりが何回も持たれ西河原公民館のホールで多数の人が集まり、私も聴覚障がい者の一人として参加しましたが、その市民と市の提案に関係なく市が図書館移転を決定してしまい、まったくびっくりしています。ぜひ市は市民と協働で改築に取り組んで欲しいと思います。
63. コロナ禍が落ち着いてきたり、収束したりしたときには調整会を復活させてほしい。施設の使用を希望する団体に対して施設が不足している現状下では各団体がお互いの都合を話し、譲り合う方法は手間がかかるが、よい方法だと思うので。他の施設を当たらなければならないことがあるので抽選結果がもっと早くわかると助かるのですが。
64. 利用者同士の顔合わせは今後も必要だと思いますので、対話のできるしくみ作りに力

を注いでいただきたいです。

65. 多目的ホールのピアノ管理（保護）が積極的になされることを希望いたします。
66. 非常事態宣言が出された場合、夜間の活動のみ制限されてしまうのは何とかして欲しい。（休館とせず8時までとするなど）密を避けるために通常より広い部屋を借りているので負担が大きい。配慮して欲しい。市民センターの改修について利用者の意見を聞く機会を作ってください。ワークショップなどに参加できる人数は少ないので。
67. 非常事態宣言が出された場合も夜間休館にしないで欲しい。感染対策をきちんとすれば昼も夜も変わらないと思う。時間は20時まででも仕方ないが練習が出来なくなり困る。市民センターの改修については利用者の意見が出せる機会を作って欲しい。
68. 利用者の声を聞く機会、利用者が話し合う機会を増やしてほしい。
69. カラオケマイクが使えるよう、新しいテレビをお願いします。
70. 市民センターの改修にあたっては、利用団体の希望が反映されるようにしてください。

アンケート結果 <令和3年4月5日付け事務連絡「利用者懇談会の開催について」>

■ 普段の活動では、西河原公民館と中央公民館のどちらを利用していますか。

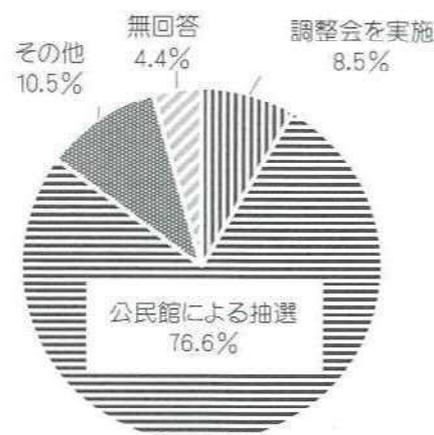
選択肢	回答数	割合
西河原公民館のみ	92	26.9%
中央公民館のみ	144	42.1%
両館とも利用	79	23.1%
その他	23	6.7%
無回答	4	1.2%
合計	342	100%

※「その他」

最近は使用していない/1度だけ西河原公民館を利用/
地区センター/地域センター/
こまえくぼ 1234/あいとびあセンター 等

■ 令和3年6月以降（9月以降の予約分）の抽選申込で重複した部屋の調整について、希望する方法を教えてください。

選択肢	回答数	割合
調整会を実施	29	8.5%
公民館による抽選	262	76.6%
その他	36	10.5%
無回答	15	4.4%
合計	342	100%



※「その他」(抜粋)

調整会には参加しない/調整会后、空いているところを予約している/
活動を休止している/コロナの感染状況が改善すれば調整会を実施/
今のコロナ禍の中では当分は公民館による抽選を望む/抽選と調整会の併用/
当選したグループがキャンセルする場合は早めに連絡してほしい/すべてネット上で決定されると良い

※「調整会を実施」の理由(抜粋)

理由や状況がお互いに分かってコミュニケーションの向上にもつながる/公平感が得やすいのでは/
納得のうちに調整ができる/公民館の抽選だと機械的に割り振られてしまう/
公民館を利用者(市民)の自治の場として残していくためにも調整会の実施が望ましい

※「公民館による抽選」の理由(抜粋)

公民館の抽選の方が平等だと感じる/今まで順調に利用できている/平日の朝に調整会を開催されては現役世代が参加できず不公平/調整会とは名ばかりで実際はじゃんけんで決めている/ジャンケンで勝った時も負けた時も気分が重い/働いている人も多く調整会への参加が負担/完全な感染対策は無理/調整会に出られないことがある/抽選会で争いになるのがとても嫌/学校や仕事で調整会に参加できないグループにも公平に機会が与えられる/調整会は平等ではない/抽選で不都合なことがなかった/新型コロナが続いている状況下での調整会には参加したくない/子どもがいて行きづらい/抽選だとあきらめもつく/現役世代には厳しい/時間にゆとりのある団体とない団体で利用に不平等が生じている/抽選も調整会もさほど変わらないと思う/調整会は時間がかかりすぎることもある/子育て中、障がい者・高齢者の介護などがある人ほど利用しづらくなり、公民館の理念と相反する/調整会に何度か出席したが、出席する意味を感じていない/抽選では利用頻度の少ない団体を優先してほしい(月4回利用の団体より月1回利用の団体を優先する)/必要以上に当たった時には他の団体に譲る旨を公民館に連絡して、公民館は抽選に外れた団体に知らせることをルール化してはどうか

資料

利用統計



西河原ギャラリーの展示の様子

於：西河原公民館



公民館利用状況

年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
合計	件数	13,403	12,662	12,737	7,371	8,098
	人数	160,981	150,316	149,139	62,375	73,439
西河原公民館	件数	6,118	5,298	5,819	3,057	3,156
	人数	71,160	60,304	62,168	24,390	28,062
中央公民館	件数	7,285	7,364	6,918	4,314	4,942
	人数	89,821	90,012	86,971	37,985	45,377

■西河原公民館

年度		平成29年度			平成30年度			平成31年度			令和2年度			令和3年度		
		件数	目的外	人数	件数	目的外	人数	件数	目的外	人数	件数	目的外	人数	件数	目的外	人数
総数		6,118	32	71,160	5,298	32	60,304	5,819	31	62,168	3,057	27	24,390	3,156	35	28,062
内訳	視聴覚室	714	0	7,130	592	0	6,103	736	0	6,605	574	0	3,009	571	0	3,424
	リハーサル室	770	3	7,152	656	1	6,238	767	0	6,337	-	-	-	-	-	-
	多目的ホール	767	7	21,368	636	0	18,296	685	2	18,066	490	2	7,477	466	0	8,284
	料理実習室	374	0	4,189	326	0	3,120	372	0	3,506	127	0	697	152	0	1,143
	茶室	510	6	2,901	423	6	2,056	456	2	2,146	145	2	775	194	8	682
	和室	673	0	6,273	594	1	5,253	619	0	5,364	456	1	2,820	425	3	2,903
	学習室Ⅰ	488	5	8,217	459	10	7,290	467	7	7,723	289	11	3,822	325	5	4,792
	学習室Ⅱ	555	3	5,328	514	9	4,855	559	9	5,069	317	5	2,517	336	7	3,030
	学習室Ⅲ	513	6	4,440	443	5	3,553	460	5	3,584	221	6	1,286	236	9	1,766
	生活工芸室	504	2	3,261	469	0	2,907	496	6	3,158	288	0	1,756	324	3	1,874
暗室	250	0	901	186	0	633	202	0	610	150	0	231	127	0	164	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、令和2年度～令和3年度のリハーサル室は貸出停止

※舞台照明設備改修に伴い、令和3年度8月の多目的ホールは貸出停止

■中央公民館

年度		平成29年度			平成30年度			平成31年度			令和2年度			令和3年度		
		件数	目的外	人数	件数	目的外	人数	件数	目的外	人数	件数	目的外	人数	件数	目的外	人数
総数		7,285	7	89,821	7,364	3	90,012	6,918	4	86,971	4,314	4	37,985	4,942	12	45,377
内訳	第一会議室	757	2	7,348	776	1	7,265	754	2	6,646	396	1	2,862	502	1	3,470
	第二会議室	710	0	5,448	719	0	5,278	644	2	5,221	313	1	1,695	411	3	2,487
	第三会議室	788	1	5,901	786	0	5,563	770	0	5,724	428	0	2,233	487	1	2,554
	第四会議室	754	1	9,130	790	0	9,419	729	0	10,244	540	0	4,964	612	1	6,104
	講座室	757	1	15,591	731	0	15,026	679	0	13,592	451	2	5,561	547	1	7,418
	和室	799	0	7,739	806	0	8,153	748	0	7,415	504	0	3,575	561	0	4,212
	ホール	845	2	18,052	857	1	19,159	787	0	17,869	553	0	8,807	577	4	9,737
	視聴覚室	815	0	12,163	834	1	11,699	773	0	11,105	519	0	4,969	582	0	5,420
	料理実習室	463	0	5,076	461	0	5,006	453	0	5,076	211	0	1,663	280	0	2,129
	美術工芸室	597	0	3,373	604	0	3,444	581	0	4,079	399	0	1,656	383	1	1,846

※西河原公民館、中央公民館とも目的外は件数の内数

※新型コロナウイルス感染症の影響により、過去分の還付・振替処理が発生しうるため、数値の基準日は以下のとおり

西河原公民館、中央公民館とも、平成31年度～令和3年度の数値は各翌年度の5月31日時点のもの

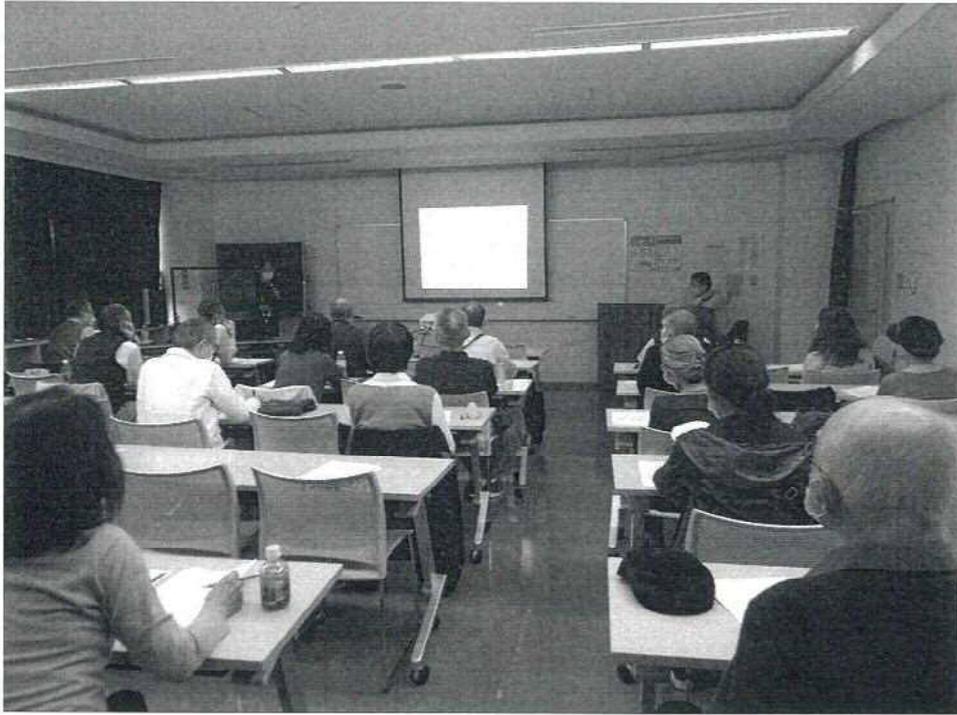
※平成31年度：休館期間 令和2年3月28日～3月31日

※令和2年度：休館期間 令和2年4月1日～6月7日

18時閉館期間(夜間貸出停止期間) 令和3年2月8日～3月21日

※令和3年度：休館期間 令和3年4月26日～6月20日

18時閉館期間(夜間貸出停止期間) 令和3年7月12日～9月30日



こまえ市民大学 西河原平日講座の様子（28ページ参照）
於：西河原公民館

狛江市立公民館の活動の記録

登録番号 R4-●

発行	令和4年6月
編集・発行	狛江市立公民館 狛江市立西河原公民館（本館） 〒201-0013 東京都狛江市元和泉二丁目35番1号 電話 03-3480-3201 狛江市立中央公民館（分館） 〒201-8585 東京都狛江市和泉本町一丁目1番5号 電話 03-3488-4411
印刷	庁内印刷
頒布価格	無償

公民館居場所事業 夏休み子ども・中高生スペース(事業概要)

1. 事業の目的

狛江市教育委員会では、学校現場における働き方改革の一環として、狛江市立学校で夏季一斉閉庁の取組を進めている。社会教育の現場を所管する公民館においても、学校教育と社会教育の連携を強化するための機会と捉え、一斉閉庁期間にあわせて居場所事業を展開する。

2. 実施期間

令和4年8月8日(月)から13日(土)まで

※8月11日(木)は祝日のため休館日

3. 実施場所

狛江市立中央公民館

4. 協力団体

NPO 特定非営利活動法人日本ウクライナ友好協会KRAIANY

ごはんと居場所の連絡会

こまえ学習サポートプロジェクト

狛江市シルバー人材センター

バルーンアート風翔

5. 事業内容(案)

■学習フリースペース

【日 時】

8月8日(月)から8月13日(土)まで(8月11日(木)は除く)

午前10時から午後5時まで

【会 場】

第一会議室

【協 力】

こまえ学習サポートプロジェクト

【内 容】

- ・児童・生徒等に自習スペースを提供
- ・協力団体による見守り

■遊びのフリースペース

【日 時】

8月8日(月)から8月13日(土)まで(8月11日(木)は除く)

午前10時から午後5時まで

※バルーンアートのワークショップは午後1時から4時まで

【会 場】

和室

【協 力】

狛江市シルバー人材センター

バルーンアート風翔

【内 容】

- ・部屋に用意されたゲームや、日本ウクライナ友好協会KRAIANYから提供されるウクライナのぬりえなどで自由に遊ぶ
- ・バルーンアートづくりのワークショップ

■にこにこ広場

【日 時】

8月8日(月)から8月12日(金)まで(8月11日(木)は除く)

午前10時から正午まで

【会 場】

保育室

【内 容】

- ・保育室のおもちゃを使った保護者と子ども(概ね就学前まで)の遊び
- ・保育士への育児相談

■子ども食堂

【日 時】

8月8日(月)

正午から午後1時まで

【会 場】

ホール(喫食)

料理実習室・美術工芸室(調理・調理準備)

【協 力】

ごはんと居場所の連絡会

【内 容】

ガパオライスとフルーツ牛乳寒天の提供

■子ども・親子向け事業

日程	時間	会場	内容
8月8日(月)	午後2時～5時	講座室	子ども向け映画
8月9日(火)	午前10時～正午	美術工芸室	ウクライナの伝統的なエッグ アートづくり
	午後2時～4時	講座室	マンガ講座
8月10日(水)	午前10時～正午	ホール	ウクライナの子ども達による 劇
	午後2時～4時	講座室	消しゴムはんこ講座
8月12日(金)	午後2時～4時	講座室	DIY講座

■その他

8月13日(土)は、公民館事業「中央公民館のつどいミニ」で利用団体のコンサートを実施する。